

通勤・通学事情

この春、入学や就職により、新生活をスタートされた方も多くいらっしゃることでしょう。今回は、通勤・通学事情をみてみましょう。

総務省統計局公表の「社会生活基本調査から分かる47都道府県ランキング（平成28年社会生活基本調査結果より）」によると、京都府の通勤・通学の平均時間（※）は、1時間20分で全国8位となっています。（図1）

※ 1日当たりの通勤・通学時間：10歳以上の「通勤・通学」をしている人、平日の平均では、京都府の皆さんは、どこに通勤・通学されているのでしょうか。常住地別に就業地・通学地の割合をみると、乙訓を除くいずれの地域も、自市町村（現在住んでいる市町村）内への通勤・通学者の割合が最も高くなっています。一方、乙訓地域は、京都市への通勤・通学者の割合が最も高くなっています。

また、すべての地域で、京都府内を就業地・通学地とする方の割合が約8～9割を占めていますが、就業地・通学地が他府県の方をみると、南丹以南の地域では大阪府への割合が最も高く、中丹以北の地域では兵庫県への割合が最も高くなっています。（図2）

通勤・通学時間を有効に活用したいですね。

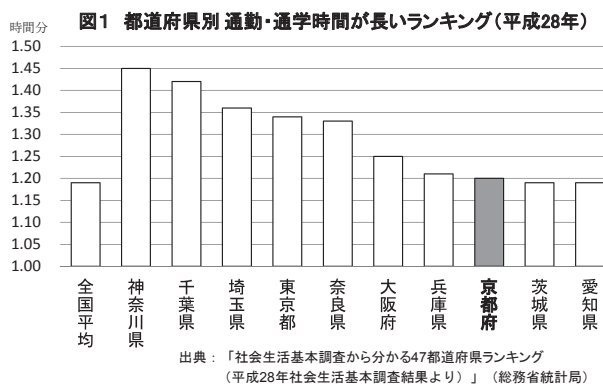


図2 常住地別 就業地・通学地の割合(15歳以上就業者・15歳以上通学者)

